

「彩の国の道徳『未来に生きる』」

埼玉県道徳教育教材集-現代的な課題をもとに-

実践事例



埼玉県教育委員会

実践事例一覧

- 1 「あさがおのかんさつで」(小学校2年生)
よいことと悪いことをよく考えて
A 善悪の判断、自律、自由と責任
- 2 「よろこびはだれに」(小学校3年生)
仲間を守るきまり
C 規則の尊重
- 3 「最後の思い出」(中学校1年生)
友の幸せを願う
B 友情、信頼
- 4 「すべての人に読書の楽しさを」(中学校3年生)
よりよい社会の実現
C 社会参画、公共の精神
- 5 「参考資料」
道徳科をもっと楽しく行うために

実践事例の活用について

彩の国の道徳「未来に生きる」は、情報モラルをはじめとして、子供たちが直面する現代的な課題や社会的な問題を取り上げ、ねらいとする道徳的価値を子供たちが自分との関わりで深め、多面的・多角的に考えられるよう作成したものである。

この教材を多くの先生方に活用してもらうために、道徳科の授業に力を入れている教師がこの教材を使って実際に授業を行い、どのように授業を展開していくのかを学習指導案として掲載しイメージしやすくまとめたものが、今回の実践事例集である。小学校の教材について2編、中学校の教材について2編の事例を提示してあるが、指導案には様々な工夫点や児童生徒と教師のやりとりを示し、実際に授業をしている様子が生き生きと実感できるものとなっている。

特に経験の浅い先生方や、道徳科の授業について悩みを持っている先生方にとっては、大いに参考になる実践事例になっていると考える。また、現在、現代的な課題を取り上げる道徳科の授業は必要不可欠でもあるので、多くの先生方にこの事例をもとに実際に授業を行っていただき、子供たちが多面的・多角的に考えられる機会としてほしい。さらに、この実践事例をもとに授業を行った先生方が、彩の国の道徳「未来に生きる」をより一層活用していただくと幸いである。子供たちの未来は、教師の指導にかかっている。これからの時代を生きる子供たちのために、是非道徳科の授業の工夫改善をお願いしたい。